

第 59 期

事業報告書

(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)

株主メモ

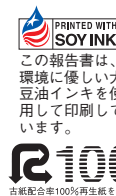
決算期	3月31日
定時株主総会	6月
配当金	利益配当金受領株主確定日 3月31日 中間配当金受領株主確定日 9月30日
基準日	3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〈郵便物送付／電話照会〉連絡先 〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-707-696 (フリーダイヤル) 三菱信託銀行株式会社 全国各支店
同取次所 单元未満株式の買取 請求及び買増請求	单元未満株式の買取請求及び買増請求は、上記名義書換代理人事務取扱場所及び同取次所にて受付けております。 ただし、株券保管振替制度をご利用されている場合は、お取引の証券会社にお申し出ください。 また、買増請求は、9月30日及び3月31日のそれぞれ12営業日前から当該日までの期間はお取扱いができませんので、ご注意ください。
公告掲載新聞	日本経済新聞 貸借対照表及び損益計算書は当社ホームページに掲載しております。
上場証券取引所	URL http://www.kissei.co.jp/ 東京証券取引所 市場第1部

●お知らせ

住所変更、配当金振込指定・変更、单元未満株式の買取請求及び買増請求に必要な各用紙、株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますので、ご利用下さい。

明日の健康を見つめる

 **キッセイ薬品工業株式会社**



キンボウゲとツツジと乗鞍岳

 **キッセイ薬品工業株式会社**

目次

株主の皆様へ	P 2
業績ハイライト (連結・単体)	P3~4
営業の概況 (連結)	P 5
研究開発の状況	P 6
財務諸表 (連結)	P7~8
財務諸表 (単体) / 利益処分	P9~10
製品の紹介	P11
トピックス	P12
株式の状況	P13
会社の概要	P14



橘の花

「キッセイ」の由来

「キッセイ」は1946年創立。当時は、初代社長・雨森正五郎の家紋である橘を冠した橘^{たちばなせい}生化学研究所としてスタートしました。翌年橘^{きっせい}生薬品工業株式会社と改称され、1964年に現社名の「キッセイ薬品工業株式会社」となりました。

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清祥のこととおよろこび申し上げます。

ここに当社第59期（平成15年4月1日から平成16年3月31日まで）の営業の概況をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

高齢化社会を迎え、医薬品の需要は拡大傾向にありますが、財政面からの抑制を目的とする各種制度改革が行われ、医薬品業界における企業の経営環境は厳しさを増しております。また、本年4月には薬価基準の引き下げが行われ、各社とも直接的に業績面での影響を受けることになります。

このような状況下において、当社は創業以来「研究開発なくして製薬企業にあらず」という精神のもと、新薬開発を優先した経営戦略を展開してまいりました。昨年4月から、新たな中期経営計画「EVOLUTION PLAN」を展開し、「創業研究開発型企業」としての確固たる地位の構築に向け推進しております。

中期経営計画初年度にあたる第59期の業績は、売上高では薬価基準引き下げ前の買い控えや競合品、後発品の影響を予想以上に受け目標を達成できませんでしたが、利益は経費の効率化等によりほぼ目標を達成いたしました。また、研究開発は順調に進捗しており、承認申請中でありました糖尿病治療薬ミチグリニドが製造承認を取得し、「グルファスト錠」として、本年5月、武田薬品工業株式会社と共同で販売を開始いたしました。大型新薬と期待する前立腺肥大に伴う排尿障害治療薬シロドシンも臨床試験が終了し、第60期に予定通り承認申請できる見込みであります。創業テーマのライセンスアウトも第58期の血糖降下薬「KGT」、頻尿・尿失禁治療薬「KUC」に続き、第59期には切迫早産治療薬「KUR」を導出し、第60期には排尿障害治療薬シロドシンの導出が決定しております。研究開発の進捗により、中期経営計画の目的とする「成長フェーズへの転換」を達成できるものと確信しております。

株主の皆様への配当金につきましては、安定的な配当とともに、収益に応じた利益配分も考慮し、年間17円といたしました。

今後、企業を取り巻く環境は厳しさを増してまいりますが、新薬開発により企業を成長させ、株主様のご期待に応えるとともに、情報の開示、社会的責任の発揮を強化してまいります。

株主の皆様の一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年6月



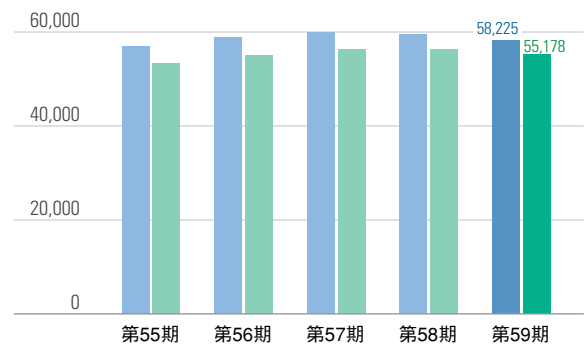
代表取締役社長

神澤陸雄

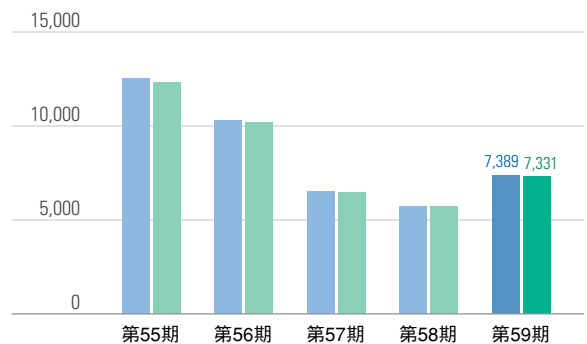
業績ハイライト (連結・単体)

■ 連結 ■ 単体

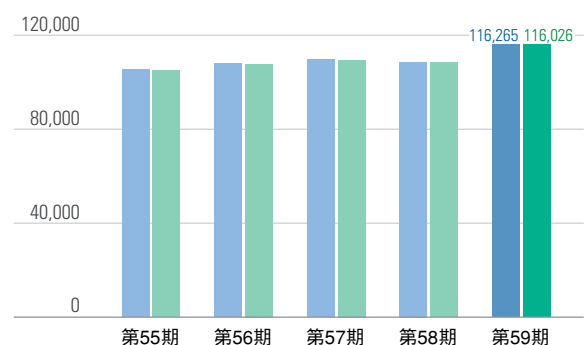
●売上高 (百万円)



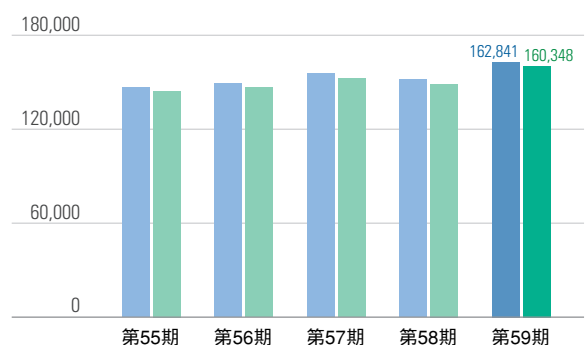
●経常利益 (百万円)



●純資産額 (百万円)



●総資産額 (百万円)



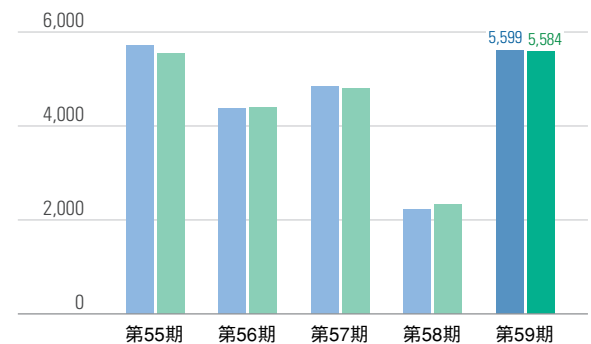
連結

	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
売上高 (百万円)	57,029	58,936	59,929	59,528	58,225
経常利益 (百万円)	12,528	10,300	6,534	5,711	7,389
当期純利益 (百万円)	5,724	4,382	4,836	2,231	5,599
純資産額 (百万円)	105,436	108,017	109,831	108,635	116,265
総資産額 (百万円)	146,648	149,188	155,740	151,582	162,841
1株当たり純資産 (円)	1,809.45	1,885.39	1,942.47	1,978.26	2,137.76
1株当たり当期純利益 (円)	98.23	75.96	84.85	39.36	101.82
株主資本比率 (%)	71.9	72.4	70.5	71.7	71.4
株主資本当期純利益率 (%)	5.6	4.1	4.4	2.0	5.0

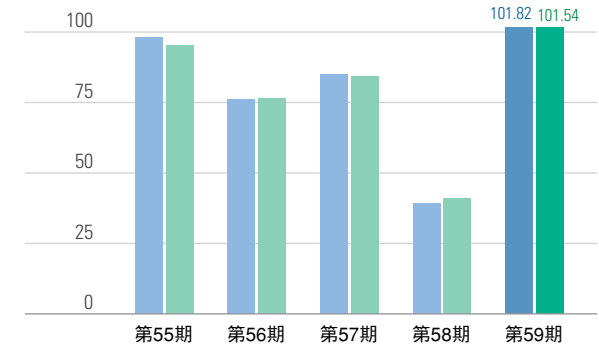
(注) 1. 1株当たり当期純利益は、第57期より期中平均発行済株式総数から期中平均自己株式数を控除した株式数を用いて、また、第58期より役員賞与金を控除して算出しております。
2. 1株当たり純資産は、第57期より期末発行済株式総数から期末自己株式数を控除した株式数を用いて、また、第58期より役員賞与金を控除して算出しております。

業績ハイライト (連結・単体)

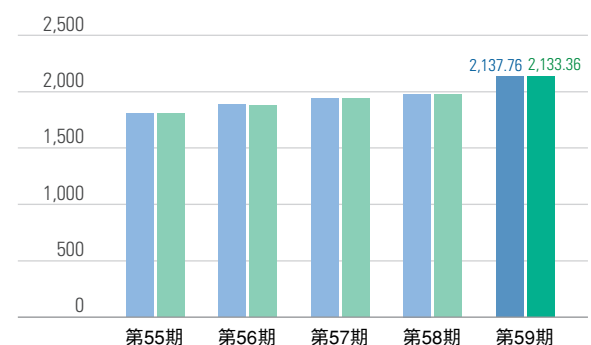
●当期純利益 (百万円)



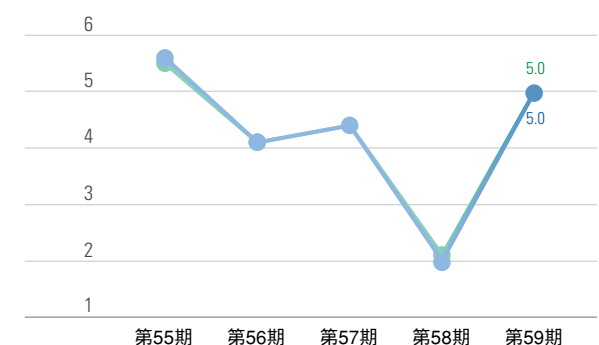
●1株当たり当期純利益 (円)



●1株当たり純資産 (円)



●株主資本当期純利益率 (ROE) (%)



単体

	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
売上高 (百万円)	53,409	55,016	56,315	56,240	55,178
経常利益 (百万円)	12,324	10,184	6,454	5,737	7,331
当期純利益 (百万円)	5,557	4,408	4,803	2,322	5,584
純資産額 (百万円)	105,146	107,743	109,516	108,411	116,026
総資産額 (百万円)	144,280	146,611	152,524	148,915	160,348
1株当たり純資産 (円)	1,804.18	1,880.51	1,936.90	1,974.18	2,133.36
1株当たり当期純利益 (円)	95.36	76.94	84.26	40.99	101.54
株主資本比率 (%)	72.9	73.5	71.8	72.8	72.4
株主資本当期純利益率 (%)	5.5	4.1	4.4	2.1	5.0
資本金 (百万円)	24,219	24,219	24,219	24,219	24,219
発行済株式総数 (株)	58,279,185	57,295,185	56,795,185	56,795,185	56,795,185
1株当たり配当金 (円)	14	14	14	14	17

(注) 1. 1株当たり当期純利益は、第57期より期中平均発行済株式総数から期中平均自己株式数を控除した株式数を用いて、また、第58期より役員賞与金を控除して算出しております。
2. 1株当たり純資産は、第57期より期末発行済株式総数から期末自己株式数を控除した株式数を用いて、また、第58期より役員賞与金を控除して算出しております。

営業の概況（連結）

当期の概要

当期におけるわが国経済は、東アジアを中心とするSARS等の景気停滞を増幅する要因がありましたが、デジタル家電に代表されるIT関連需要と輸出に牽引され、個人消費も上向きつつある環境の中で推移いたしました。

医薬品業界におきましては、被用者保険本人の医療費3割自己負担や特定機能病院等における入院医療の包括評価の導入、更には後発品使用促進などの医療費や薬剤費の抑制策が実施され、引き続き厳しい状況にありました。また、情報サービス業界、物品販売業界もデフレ経済が影響し熾烈な競争環境下にありました。

このような情勢の中で、平成15年4月にパーキンソン病治療薬「カバサル錠」が高プロラクチン血症関連疾患等の効能追加を取得し、これら導入商品の育成を図るとともに、積極的な医薬情報活動を推進いたしました。

研究開発面では、平成14年12月に厚生労働省に承認申請を行いました糖尿病治療薬ミチグリニド並びに平成15年5月に承認申請を行いました頭頸部の放射線治療に伴う口腔乾燥症状改善薬ピロカルピンの承認取得に向けたフォローを行い、また、これらテーマの効能追加及び前立腺肥大に伴う排尿障害治療薬シロドシン等を中心に開発を推進いたしました。ミチグリニドにつきましては本年1月29日に厚生労働省より製造承認を取得し、本年5月速効型インスリン分泌促進薬「グルファスト錠」として、当社と武田薬品工業株式会社が同一品名にて販売を開始する運びとなりました。

その他の事業におきましては、グループとしての相乗効果の向上を課題に、事業内容の再編成等を積極的に推進いたしました。この結果、売上高は582億2千5百万円（前期比2.2%減）となりましたが、研究開発費を主に販売費及び一般管理費が減少したため、営業利益は62億1千万円（前期比2.3%増）、経常利益は73億8千9百万円（前期比29.4%増）、当期純利益は55億9千9百万円（前期比151.0%増）となりました。なお、トラニラストの特許訴訟損害賠償金22億8千2百万円を特別利益に計上いたしました。

また、期中に資本効率の向上と発行済株式数の減少を通じて株主価値の増大を図ることを目的に自己株式の買受けを実施いたしました。取得した株式の総数は500千株、取得価額の総額は8億1千6百万円であります。なお、期末に保有している自己株式数は、2,427千株であります。

来期の見通し

医薬品業界は、本年4月に実施されました薬価改定の影響等を受け、引き続き厳しい環境下にあります。その他の事業におきましても、デフレ状況の継続や個人消費の回復の遅れが懸念され、厳しい状況が続くと予想されます。このような情勢の中で当社グループは、グループとしての相乗効果が発揮できる経営体質の確立を目指し、中期経営計画に基づき、成長戦略に取り組んでまいります。

次期の業績につきましては、売上高602億円、経常利益64億3千万円、当期純利益46億5千万円を目標に業績の確保に努力いたします。

対処すべき課題

「EVOLUTION PLAN」でスローガンとしております「収益構造の変革」と「成長フェーズへの転換」を着実に達成することです。

「収益構造の変革」とは、研究重点領域を絞り、経営資源の適正投入を行うとともに、現在の人員体制を維持し、各種業務の抜本的見直しによる経費節減を図ることです。更に、従来から継続しております他社、あるいは研究機関等との共同開発や共同販売などの戦略的提携について積極的な展開を図ります。

「成長フェーズへの転換」とは、当中期経営計画期間中に、糖尿病治療薬ミチグリニド、口腔乾燥症状改善薬ピロカルピン、前立腺肥大に伴う排尿障害治療薬シロドシンの3テーマについて効能追加を含めた5適応症全ての承認を国内市場で取得し、早期育成を図ることです。また、海外医薬品市場におきましては、マイルストーン及びロイヤルティ収入に収益を求めるライセンスアウトを推進し、当社オリジナル製品が少しでも早く海外で発売されることを目指します。

研究開発の状況

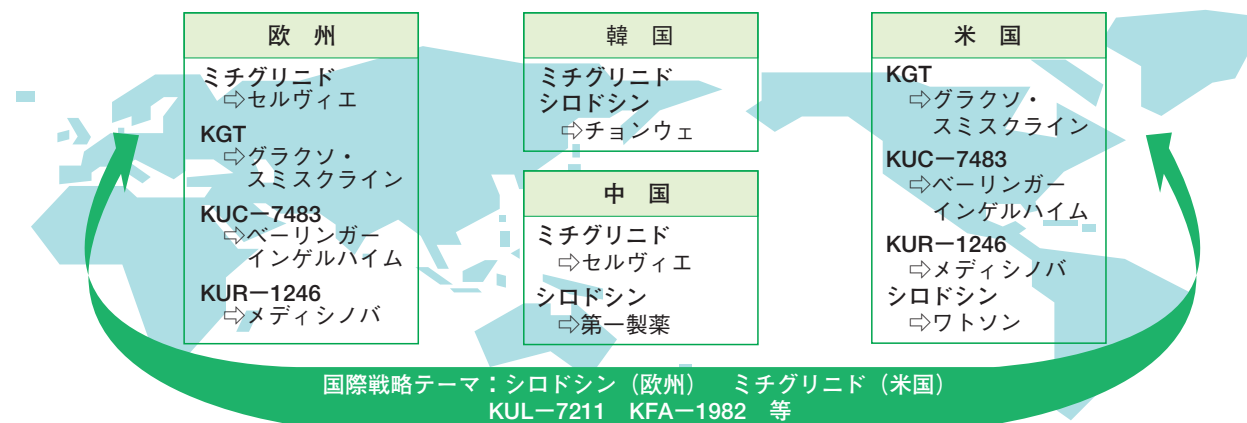
技術革新と国際化の急激な進展により、研究開発テーマの評価基準と承認審査のハードルは高くなっています。このような状況下において、当社は経営ビジョン「創薬研究開発型企業」を実現するために、創薬研究の基盤強化、最優先テーマの早期承認取得及びR&Dパイプラインの充実強化を推進しております。

●主な新薬開発状況（平成16年5月現在）

開発番号 (一般名)	オリジン	予想される適応症	開発 エリア	開発段階	開発実施企業
KAD-1229 (ミチグリニド)	創製品	2型糖尿病	米国	第Ⅱ相	キッセイ
			欧州	第Ⅲ相	セルヴィエ
		a-グルコシターゼ阻害剤との併用療法(効能追加)	日本	第Ⅱ/Ⅲ相	キッセイ
KMD-3213 (シロドシン)	創製品	前立腺肥大に伴う排尿障害	日本	承認申請準備中	キッセイ/第一製薬
KUR-1246	創製品	切迫早産	米国	第Ⅱ相	ワトソン
			日本	第Ⅰ相	キッセイ/帝国臓器製薬
KSS-694 (ピロカルピン)	エム・ジー・アイ・ファーマ (米国)	頭頸部の放射線治療に伴う口腔乾燥症状の改善 シェーグレン症候群患者の口腔乾燥症状の改善(効能追加)	欧州	第Ⅱ相	キッセイ
			日本	承認申請中	キッセイ
			日本	第Ⅲ相	キッセイ

海外展開は当社成長のための重要な経営課題です。海外展開にあたってはライセンスアウトによる戦略をとっており、将来における収益基盤の核となる海外売上規模を拡大するために、ライセンスアウトによる国際展開の更なる推進を図ります。当期は、米国メディシノバ社に切迫早産治療薬KUR-1246、韓国チョンウエ製薬に排尿障害治療薬シロドシンをライセンスアウトいたしました。

●ライセンスアウトの状況（平成16年5月現在）



財務諸表（連結）

●連結貸借対照表

科目	期別		科目	期別	
	前期 (平成15年3月31日現在)	当期 (平成16年3月31日現在)		前期 (平成15年3月31日現在)	当期 (平成16年3月31日現在)
(資産の部)					
流動資産	89,502	93,641	流動負債	15,777	18,797
現金及び預金	36,864	38,220	支払手形及び買掛金	7,493	7,205
受取手形及び売掛金	24,037	24,595	短期借入金	2,110	2,269
有価証券	11,582	13,201	未払法人税等	210	3,294
たな卸資産	8,377	8,728	賞与引当金	2,035	1,746
繰延税金資産	1,959	1,904	返品調整引当金	22	28
その他	6,708	6,995	売上割戻引当金	518	584
貸倒引当金	△ 27	△ 4	販売費引当金	177	264
			その他	3,208	3,404
固定資産	62,079	69,200	固定負債	27,077	27,685
有形固定資産	28,223	28,174	転換社債	21,777	21,777
建物及び構築物	12,901	12,332	長期借入金	255	180
土地	12,918	12,918	役員退職慰労引当金	1,221	1,311
建設仮勘定	379	17	退職給付引当金	3,823	4,417
その他	2,024	2,906	負債合計	42,855	46,483
無形固定資産	2,691	2,657	(少数株主持分)		
投資その他の資産	31,165	38,369	少数株主持分	91	91
投資有価証券	22,465	32,008	(資本の部)		
長期前払費用	1,734	1,349	資本金	24,219	24,219
繰延税金資産	3,798	1,211	資本剰余金	24,110	24,110
その他	3,272	3,923	利益剰余金	63,004	67,811
貸倒引当金	△ 105	△ 123	その他有価証券評価差額金	301	4,001
			自己株式	△ 3,000	△ 3,877
資産合計	151,582	162,841	資本合計	108,635	116,265
			負債・少数株主持分・資本合計	151,582	162,841

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結損益計算書

科目	期別	
	前期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)	当期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)
売上高	59,528	58,225
売上原価	19,892	21,357
売上総利益	39,636	36,868
販売費及び一般管理費	33,563	30,658
営業利益	6,072	6,210
営業外収益	477	1,586
営業外費用	837	407
経常利益	5,711	7,389
特別利益	413	2,282
特別損失	1,622	49
税金等調整前当期純利益	4,502	9,622
法人税、住民税及び事業税	1,448	3,847
法人税等調整額	847	135
少数株主損益	△ 24	39
当期純利益	2,231	5,599

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結剰余金計算書

科目	期別	
	前期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	当期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)
(資本剰余金の部)		
I. 資本剰余金期首残高	24,110	24,110
II. 資本剰余金増加高	—	0
自己株式処分差益	—	0
III. 資本剰余金期末残高	24,110	24,110
(利益剰余金の部)		
I. 利益剰余金期首残高	61,596	63,004
II. 利益剰余金増加高	2,231	5,599
当期純利益	2,231	5,599
III. 利益剰余金減少高	823	792
配当金	786	765
役員賞与	36	27
IV. 利益剰余金期末残高	63,004	67,811

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結キャッシュ・フロー計算書

科目	期別	
	前期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)	当期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,502	9,622
減価償却費	3,083	2,868
引当金の増減額	482	547
受取利息及び受取配当金	△ 369	△ 322
支払利息	203	204
為替差損	—	42
有価証券売却損益	△ 336	△ 178
有価証券評価損益	266	△ 868
投資有価証券評価損	1,508	9
固定資産処分損	108	18
売上債権の増減額	3,653	△ 557
たな卸資産の増減額	△ 1,179	△ 350
その他流動資産の増減額	467	826
仕入債務の増減額	△ 80	△ 288
その他流動負債の増減額	144	195
役員賞与の支払額	△ 36	△ 27
その他営業活動によるキャッシュ・フロー	76	△ 0
小計	12,495	11,741
利息及び配当金の受取額	327	259
利息の支払額	△ 203	△ 204
法人税等の支払額	△ 4,778	△ 754
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,841	11,042
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△ 76	△ 49
定期預金の払戻による収入	115	76
特定金銭信託の払戻による収入	1,270	16
有価証券の売却による収入	755	1,580
有形固定資産の取得による支出	△ 1,291	△ 1,817
有形固定資産の売却による収入	37	11
無形固定資産の取得による支出	△ 360	△ 610
投資有価証券の取得による支出	△ 6,992	△ 5,005
投資有価証券の売却による収入	7,741	457
貸付けによる支出	△ 1,332	△ 456
長期前払費用にかかる支出	△ 518	△ 6
その他投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 421	△ 254
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,072	△ 6,057
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	380	450
短期借入金の返済による支出	△ 100	△ 290
長期借入金の返済による支出	△ 79	△ 75
社債の買入消却による支出	△ 256	—
親会社による配当金の支払額	△ 786	△ 765
自己株式の取得による支出	△ 2,559	△ 880
自己株式の売却による収入	—	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,402	△ 1,556
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△ 42
V. 現金及び現金同等物の増減額	3,366	3,384
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	43,420	46,786
VII. 現金及び現金同等物の期末残高	46,786	50,171

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表（単体）

●貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別		科目	期別	
	前期 (平成15年3月31日現在)	当期 (平成16年3月31日現在)		前期 (平成15年3月31日現在)	当期 (平成16年3月31日現在)
(資産の部)					
流動資産	88,170	92,319	流動負債	13,903	17,109
現金及び預金	36,504	37,991	支払手形	1,077	736
受取手形	432	336	買掛金	5,437	5,388
売掛金	22,851	23,545	短期借入金	1,150	1,150
有価証券	11,582	13,201	1年内返済予定長期借入金	5	4
商品・製品	5,124	5,075	未払金	2,372	3,707
半製品・仕掛品	1,832	1,739	未払法人税等	206	3,266
原材料・貯蔵品	1,376	1,749	賞与引当金	1,884	1,589
繰延税金資産	1,885	1,811	返品調整引当金	22	28
その他	6,601	6,868	売上割戻引当金	518	584
貸倒引当金	△ 20	—	販売費引当金	177	264
			その他の	1,051	387
固定資産	60,745	68,028	固定負債	26,599	27,212
有形固定資産	27,173	27,232	転換社債	21,777	21,777
建物・構築物	12,900	12,322	長期借入金	59	39
機械・装置	470	1,243	役員退職慰労引当金	1,176	1,259
車両・運搬具	15	18	退職給付引当金	3,587	4,135
工具・器具・備品	1,022	1,245	負債合計	40,503	44,321
土地	12,385	12,385	(資本の部)		
建設仮勘定	379	17	資本金	24,219	24,219
無形固定資産	2,724	2,769	資本剰余金	24,110	24,110
ソフトウェア	1,657	1,823	資本準備金	24,110	24,110
その他	1,066	945	その他資本剰余金	—	0
投資その他の資産	30,847	38,026	自己株式処分差益	—	0
投資有価証券	21,596	30,877	利益剰余金	62,780	67,573
関係会社株式	914	1,222	利益準備金	940	940
長期貸付金	266	545	任意積立金	57,900	59,400
関係会社長期貸付金	1,000	1,000	別途積立金	57,900	59,400
長期前払費用	1,730	1,345	当期未処分利益	3,939	7,232
敷金・保証金	420	414	その他有価証券評価差額金	301	4,000
繰延税金資産	3,587	972	自己株式	△ 3,000	△ 3,877
その他	1,437	1,771			
貸倒引当金	△ 105	△ 123	資本合計	108,411	116,026
資産合計	148,915	160,348	負債・資本合計	148,915	160,348

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

利益処分

●損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	
	前期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)	当期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)
売上高	56,240	55,178
売上原価	17,519	19,276
返品調整引当金戻入額	18	22
返品調整引当金繰入額	22	28
売上総利益	38,718	35,895
販売費及び一般管理費	32,652	29,720
営業利益	6,065	6,175
営業外収益	609	1,654
受取利息	20	36
有価証券利息	212	85
受取配当金	130	193
有価証券売却益	—	200
有価証券評価益	—	858
その他	246	280
営業外費用	937	497
支払利息	22	21
社債利息	165	164
有価証券評価損	266	—
為替差損	—	53
その他	483	257
経常利益	5,737	7,331
特別利益	413	2,282
訴訟損害賠償金	—	2,282
投資有価証券売却益	413	—
特別損失	1,622	47
固定資産処分損	114	24
投資有価証券売却損	—	22
投資有価証券評価損	1,508	—
税引前当期純利益	4,528	9,566
法人税、住民税及び事業税	1,420	3,800
法人税等調整額	785	182
当期純利益	2,322	5,584
前期繰越利益	2,008	2,028
中間配当金	391	380
当期未処分利益	3,939	7,232

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：円)

科目	金額
当期未処分利益	7,232,141,566
これを次のとおり処分いたします。	
利益配当金 (1株につき10円)	543,679,420
役員賞与金 (取締役賞与金) (監査役賞与金)	40,080,000 (37,210,000) 2,870,000
別途積立金	4,600,000,000
次期繰越利益	2,048,382,146

(注) 1. 平成15年12月10日に380,718,982円（1株につき7円）の中間配当を実施いたしました。
2. 利益配当金は自己株式2,427,243株に対する金額を除いております。

製品の紹介

●主な医療用医薬品

神経系用薬

カバサル錠 パーキンソン病治療薬

感覚器官用薬

リザベン点眼液 アレルギー性結膜炎治療薬
リズモンTG点眼液 緑内障・高眼圧症治療薬

循環器官用薬

ベザトールSR錠 高脂血症治療薬
キサンボン注 脳循環改善薬

消化器官用薬

ガスコン 消化管内ガス駆除薬
アラント 胃・十二指腸潰瘍治療薬

ホルモン・泌尿生殖・血液体液用薬

ウテメリン 切迫流・早産治療薬
フラグミン静注 血液凝固阻止薬
ゾラデックス1.8mgデポ 子宮内膜症治療薬
エストラダームM 女性ホルモン剤
フルスタン錠 活性型ビタミンD₃製剤

アレルギー用薬

リザベン アレルギー性疾患治療薬
ドメナン錠 気管支喘息治療薬

●主なヘルスケア食品

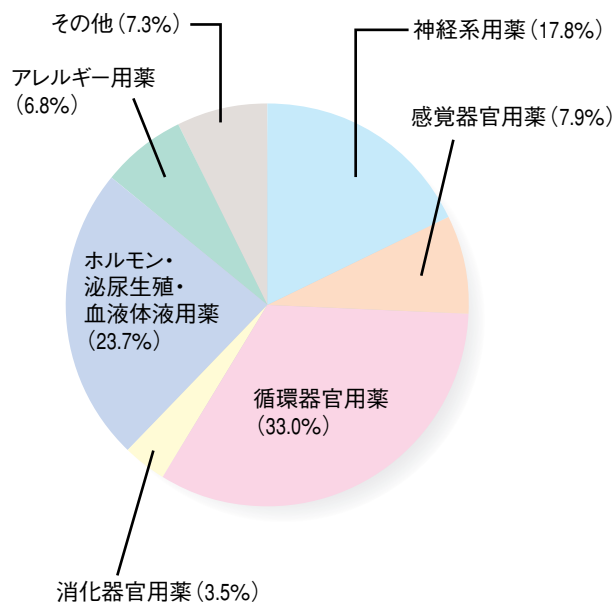
高齢者・介護補助食品

スルーキング・・・飲み物や食品の種類および温度に関係なく、安定したとろみがつけられるとろみ調整食品です。無色でにおいも味もなく、食品の風味を損ないません。

スルーソフトS・・・液状食品やキザミ食に、温度に関係なくお好みの自然なとろみがつけられるとろみ調整食品です。においも味もなく、食品の風味を損ないません。

やわらかカップ・・・テリーヌ風においしくとろけるようなやわらかさに仕上げました。味の種類は、うなぎ、ほたて風味、かに風味、いわし、いとより鯛、ポークしょうが焼きがあります。また、たんぱく質を強化した、ぶり大根風味、さばの味噌煮もあります。

●売上高比率 (平成15年4月1日～平成16年3月31日)



エネルギー補給食品

カップアガロリー・・・1食で150kcalのエネルギー、100mgのカルシウムが補給できます。味の種類は、マスカット、オレンジ、ウメ、カリン、リンゴ、モモ、ストロベリー、ブルーベリーがあります。

たんぱく質、リン、カリウム調整食品

越のげんた米・・・米どころ「越後」の厳選したお米を独自の技術でたんぱく質、リン、カリウムを低減し、「おいしさ」と「かたち」にこだわった無洗米です。

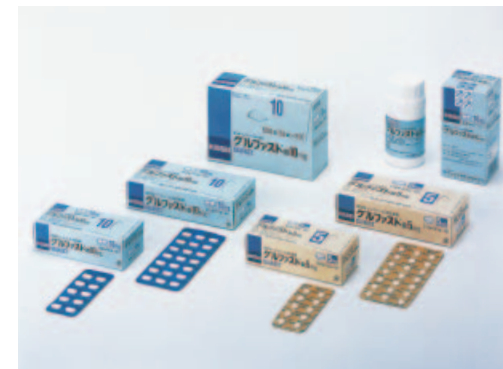
げんたうどん・そば・そうめん・・・たんぱく質、リン、カリウムを低減した、厚生労働省許可特別用途食品（低たんぱく質食品、腎不全患者用）です。

トピックス

速効型インスリン分泌促進薬

グルファスト錠

新発売



平成16年1月に糖尿病治療薬「グルファスト錠」の製造承認を取得し、平成16年5月より武田薬品工業株式会社と同一品名にて共同販売を開始いたしました。

「グルファスト錠」は膵臓のβ細胞を刺激することによりインスリン分泌を促進します。服用後速やかに効果を発現することから、インスリン分泌を自然なパターンに近づけて食後高血糖を改善します。

今後一層の増加が予想される糖尿病患者さんに対して、大きく貢献することが期待されます。

ヘルスケア製品

当社では、高齢者や要介護者の方々、食事療法や食事制限が必要とされる患者さん向けに特徴ある食品の開発、販売を行っております。

平成15年4月に新発売いたしました「ウェットケアレモン」、及び平成16年4月に新発売いたしました「ウェットケアプラス」をご紹介します。



うるおいスプレー飲料
ウェットケアレモン



うるおいスプレー飲料
ウェットケアプラス

平成14年10月より販売しております生体保湿成分のヒアルロン酸とキシリトール、酸味料を配合し、口の中にスプレーすることで、口腔内を潤すことができるスプレー式飲料「ウェットケア」に、レモン味をつけた「ウェットケアレモン」、そして口腔ケアに役立つことが知られているカテキンを新たに配合した「ウェットケアプラス」を新発売いたしました。最近注目されておりますドライマウス症状（口腔乾燥症状）の方の口腔内の不快感を緩和できる飲料として、歯科領域への展開も積極的に進めております。

株式の状況

会社が発行する株式の総数 128,516,000株
 発行済株式の総数 56,795,185株
 株主数 3,571名 (前期末比増減 284名減)
 平均所有株数 15,904株 (前期末比増減 1,172株増)

●大株主

株主名	持株数	議決権比率
神澤邦雄	3,697千株	6.9%
日本トラステイ サービス信託銀行株式会社 信託口	3,566	6.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口	3,469	6.5
有限会社カンザワ	3,178	5.9
株式会社八十二銀行	2,695	5.0
株式会社みずほ銀行	2,694	5.0
第一生命保険相互会社	2,418	4.5
鍋林株式会社	1,319	2.5
株式会社長野銀行	1,126	2.1
キッセイグループ従業員持株会	1,069	2.0

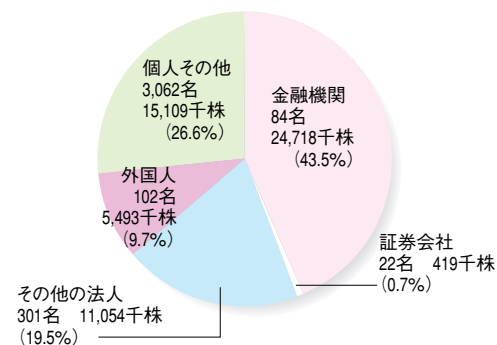
(注) 当社は自己株式2,427,243株を保有しておりますが、上記大株主には記載しておりません。

●株価チャート

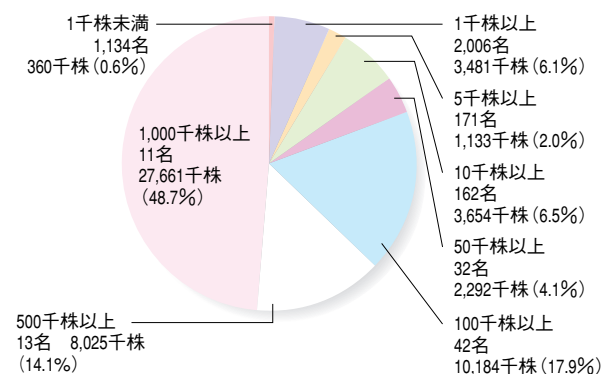


(平成16年3月31日現在)

●所有者別分布



●所有株数別分布



会社の概要

(平成16年3月31日現在)

キッセイ薬品工業株式会社
 KISSEI PHARMACEUTICAL CO., LTD.
 昭和21年8月9日
 24,219,657,478円
 医療用医薬品の製造販売
 本社
 長野県松本市芳野19番48号
 電話 (0263) 25-9081 〒399-8710
 東京本社
 東京都中央区日本橋室町一丁目8番9号
 電話 (03) 3279-2761 〒103-0022
 東京本社 (小石川)
 東京都文京区小石川三丁目1番3号
 支店
 札幌支店、仙台支店、関越支店 (さいたま市)、
 東京支店、横浜支店、松本支店、
 名古屋支店、京都支店、大阪支店、
 高松支店、広島支店、福岡支店
 (注) 支店の下に24営業所を設置しております。
 工場
 松本工場、塩尻工場 (物流センター含む)
 研究所
 中央研究所・安全性研究所・製剤研究所
 (長野県穂高町)
 ヘルスケア事業センター (塩尻市)

役員
 代表取締役会長 神澤邦雄
 代表取締役社長 神澤陸雄
 取締役副社長 岩垂正矩
 専務取締役 斎藤浩
 常務取締役 味澤幸義
 取締役 日吉幸嗣
 取締役 須澤東夫
 取締役 倉科喜一
 取締役 薄田利秋
 取締役 竹内正幸
 取締役 柳澤圭一郎
 取締役 降旗征一郎
 取締役 飯塚欣二
 取締役 熊澤潔
 取締役 矢花哲夫
 取締役 足立寿喜夫
 常勤監査役 赤北羽増秀夫
 常勤監査役 富澤輝雄
 監査役 久保田嘉信
 監査役 山田喜之

従業員数 1,456名 (平均年齢36.4歳)

HPのご案内

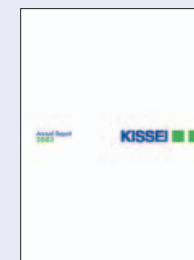
タイムリーな情報をウェブサイトで提供しています。



URL : <http://www.kissei.co.jp/>

アニュアルレポート

ホームページ (English Page) にも掲載しています。



環境報告書

環境への取り組みを「環境報告書」としてまとめています。



資料請求のご連絡先：広報部 TEL : 0263-25-9523 (土日祝日、当社休日を除く月～金 8:40～17:20)